

身近な自然あそびを通して ～豊かな感性を育む環境づくり～



子どもの姿

- ◆園庭で出会う生き物を友だちや保育者と一緒に触れ合うことを喜んでいます
- ◆幼稚園で過ごす中で、身近な草花や木々の美しさを感じとり、様々な発見をし、心を動かして遊んでいます



研究主題設定の理由



子どもたちは、日ごろから生き物・虫探しに興味を示し、生き物と触れ合うことを喜ぶ姿がある。しかし、身近な自然に十分にかかわり、新たな発見や探求していく体験が少ないように感じられる。

そこで、豊かな感性を育むことに繋がる自然環境や自然体験を保育環境の中でどのように子どもたちへ提供し、環境を整えていくべきなのかを研究していくこととする。

幼稚園教育要領「表現」より



「豊かな感性は、自然など身近な環境と十分にかかわる中で、美しいもの、優れたもの、心を動かす出来事などに出会い、そこから得た感動を他の幼児と教師と共有し、様々に表現することなどを通して養われるようにすること」

研究のポイント



遊びの幅が広がる
自然環境づくり

園庭に植える植物や育てる植物
など、提供する自然物の見直し

玩具の見直しと保育者の
アプローチの工夫



まとめ



◆生き物とふれあう体験、自然あそびを通して、喜んだり、悲しんだり、なぜだろう？と不思議に思ったりする経験をした。こうした思いや感動を、友だちや保育者と一緒に味わうことで、感動は確かなものとなり、新しい好奇心の芽生えとなった。

◆自分たちで種から植物を育てる経験から、毎日のお世話をし、小さな変化にも目を向けるようになり、興味関心が深まった。

これからも私たち保育者は子どもたちの気持ちの高まりを細かく察知し、かかわりや援助して保育、そして環境を整えていく必要があると改めてこの研究を通して考えさせられた。



アゲハ蝶の旅立ち

旅立ちの瞬間「いってらっしゃい」「がんばってね」と蝶々に語りかけています。



野菜の収穫

毎日みなでお水をあげてお世話をしました。



あさがおの種の採取

7月に花が咲き、9月になると、たくさんの種が採れました。



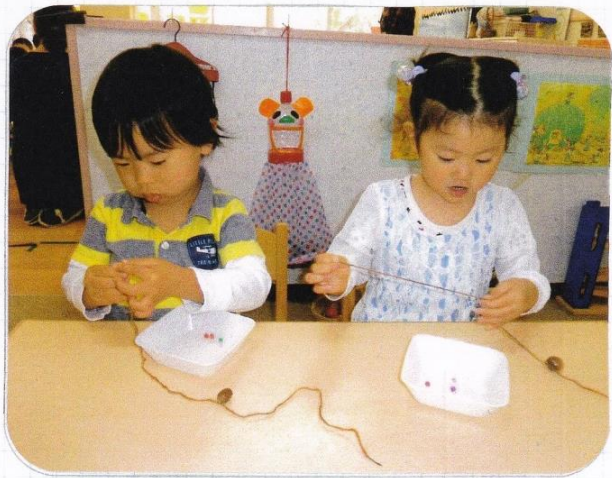
身近な草花を使った色水あそび

身近な草花をすりつぶし、ジュースパーティーをして遊んでいます。



カブトムシ

みんなで飼育しているカブトムシの幼虫をじっくり観察しています。



秋の木の実あそび

どんぐりのネックレスをつくっています。